

横須賀が

横須賀を

横須賀は

みえる。かえる。かわる。

コロナに翻弄されてきたこの1年。まだまだその出口は見えませんが、そんななか横須賀の未来が変わるかも知れない大きな選択機会が巡ってきます。関係ないんじゃない？どうせ変わらないんでしょ？と決めつける前に、少しでも横須賀の現状と問題をおさらいし、あなたの選択次第で変えられる横須賀の未来予想図について、考えてみませんか。

横須賀市議会議員 小林のぶゆき

小林のぶゆき：1975年 福島県生まれ（45歳）、筑波大学卒業、国会議員秘書、2011年4月横須賀市議会議員に初当選（現在3期）、無党籍・無所属・無党派
事務所：〒239-0841 神奈川県横須賀市野比2-13-18

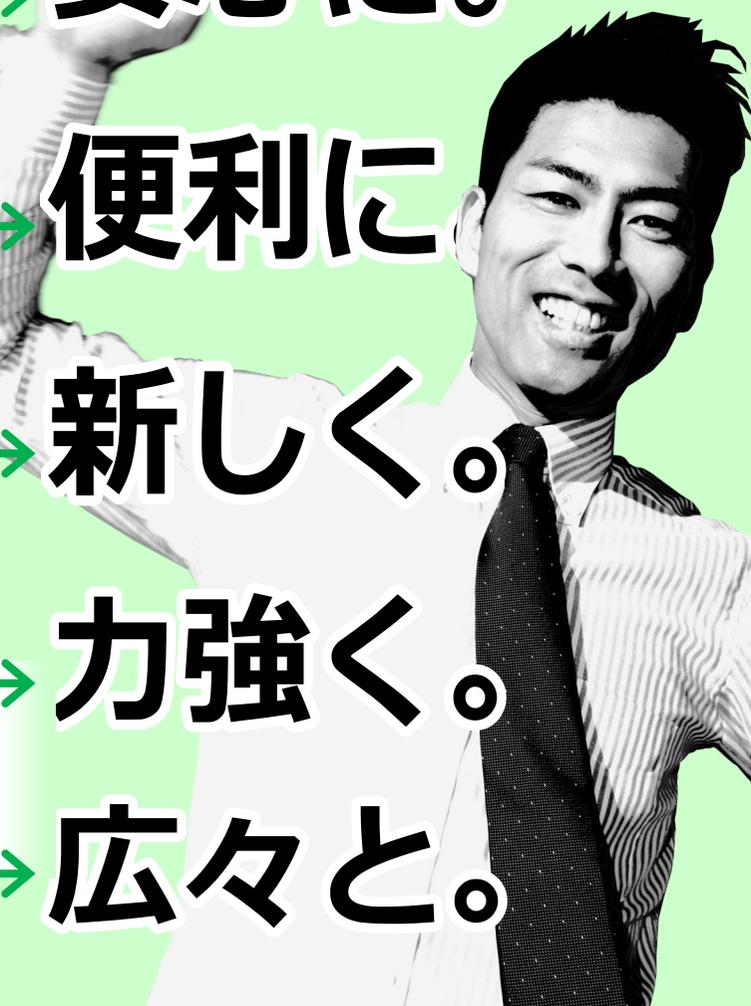
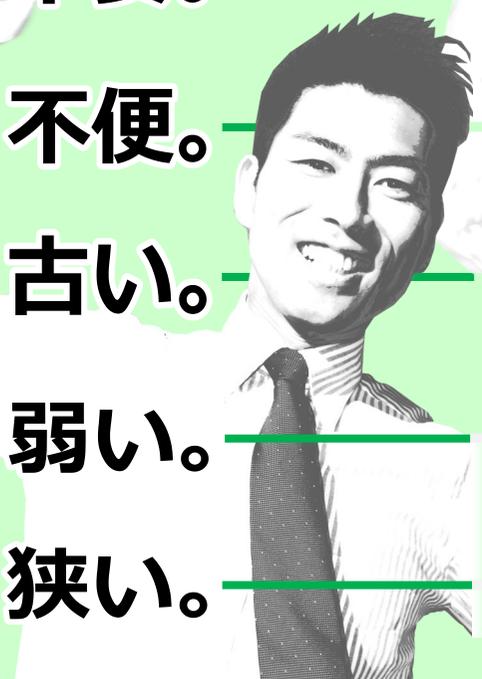


活断層が米軍基地がコロナが
移動が公共交通が仕事
発想が公共施設が政策が
地域経済が子育て支援が医療体制が
まちが選択肢が視界が

不安。
不便。
古い。
弱い。
狭い。

- 緊急避難場所に使える民間協力施設を倍増！
- 水や食料の備蓄は、全市民の一週間分を確保。
- 原子力空母事故に備えた災害対策を全面見直し！
- コロナが終わらない前提で市の施策を全部見直し！
- シニア3000円バス乗り放題パスの対象者を大幅に拡大！
- テレワークやワーケーションを推進する企業へ、助成を強化！
- 久里浜駅や衣笠駅・追浜駅前を徹底整備し、便利な街に！
- 若者パワーで古い政治を壊す！
- 行政は管理職の半分を女性に！
- 公共施設の三割をたたみ、残る施設のリノベーション財源に！
- 水道下水道の基本料金を下げる。
- 低所得者の介護保険料を下げる。
- 全域で公設学童クラブを作る。
- 病院間の分業を進め、高齢者医療床を二割増やす。
- 浦賀港に「マリナパーク」、大津や久里浜に「道の駅」を作る！
- 地域通貨の活用で、地元で消費される経済へ転換！
- 空き家問題は、市の斡旋仲介で若者に無償提供して解決！

安心に。
便利に
新しく。
力強く。
広々と。

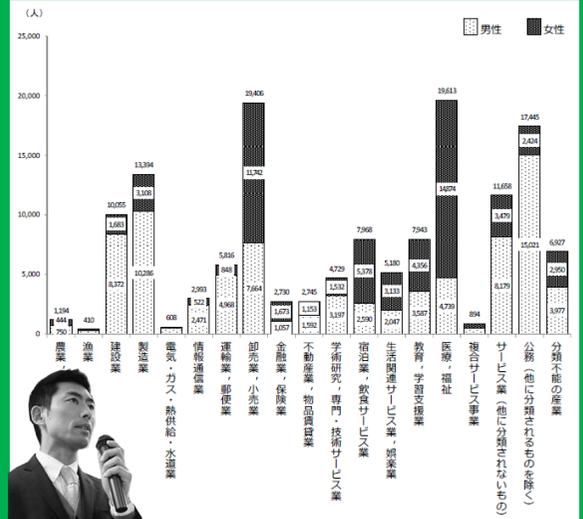


横須賀を わかる。

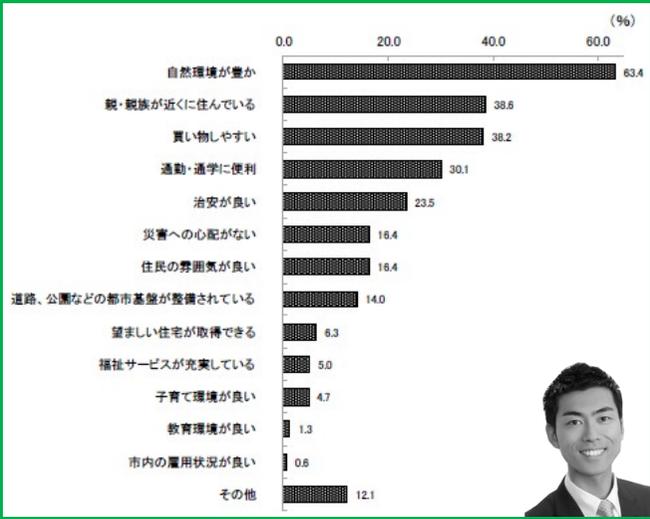


2020年3月改訂版

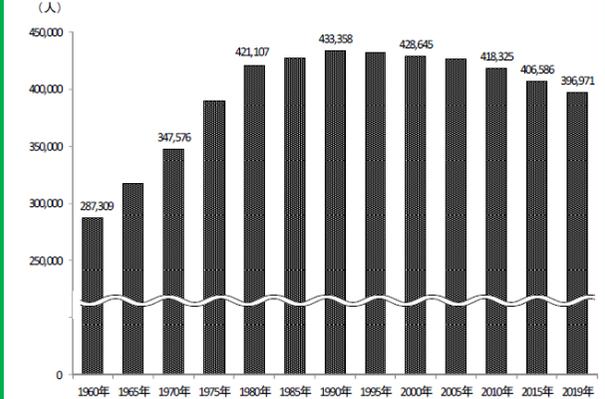
注) 政策の参考に「横須賀市人口ビジョン」(横須賀市発行、93ページ、2020年3月改訂版)を参照しました。
 ここにはそのデータの一部を転載・紹介しました。資料の全体は右上のQRコードからPDFファイルで閲覧できます。



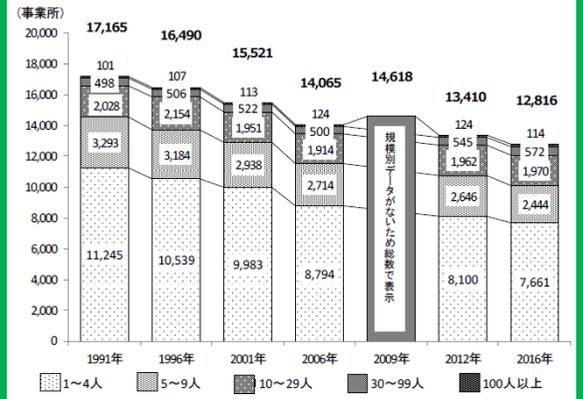
横須賀市 男女別産業大分類別就業者数



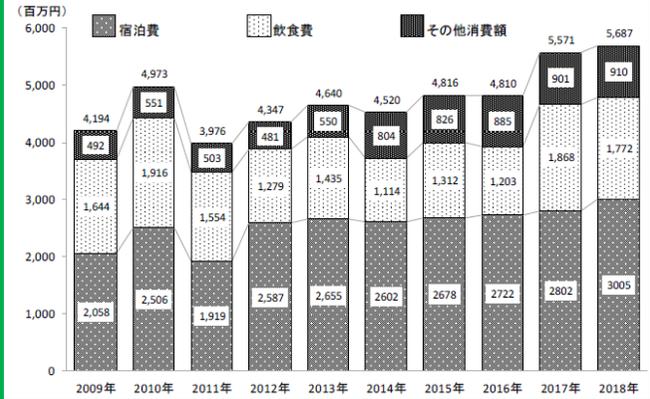
横須賀市 市内に住み続けたい理由



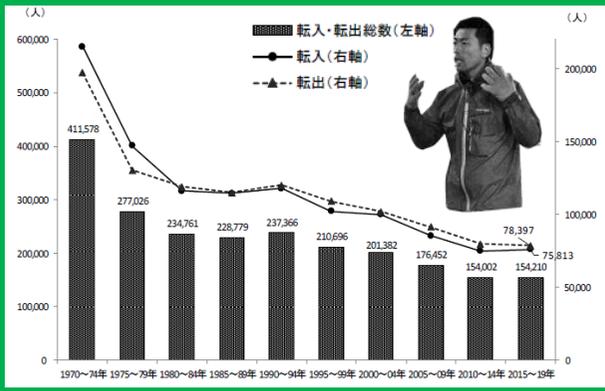
横須賀市 人口総数の推移



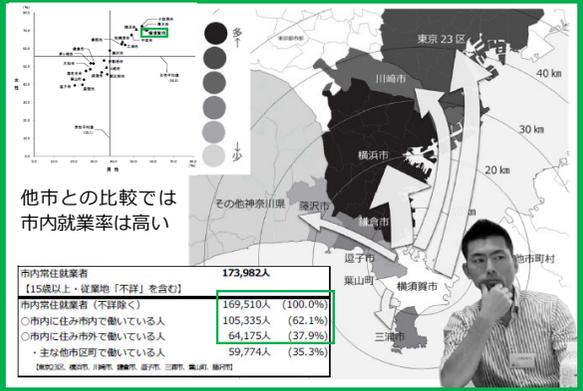
横須賀市 事業所数(民営)の推移



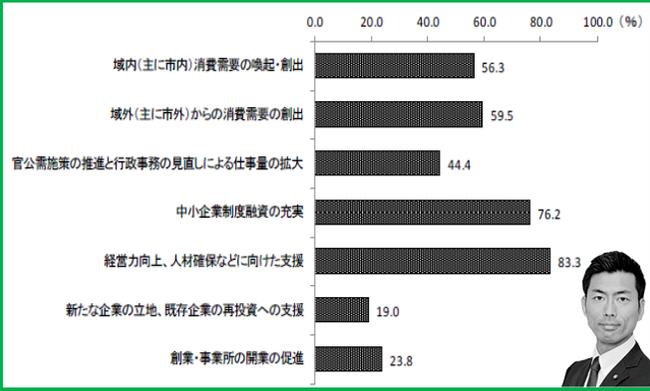
横須賀市 観光客消費額の推移



横須賀市 社会増減の推移



横須賀市 市内常住者の就業先



横須賀市 市に力を入れてほしい施策(H29)

●人口は三〇年下がり続けています
 ●三〇人以下の事業所が九割超です
 ●観光重視の成果が少しは出ています
 ●二〇年間、転出が転入を上回っています
 ●勤労者の三八%が市外で働いています

●産業構造にムラが大きく、脆弱な基盤です
 ●自然環境の良さを上げる人がダントツです
 ●観光重視の成果が少しは出ています
 ●中小企業の悲鳴が聞こえてきます